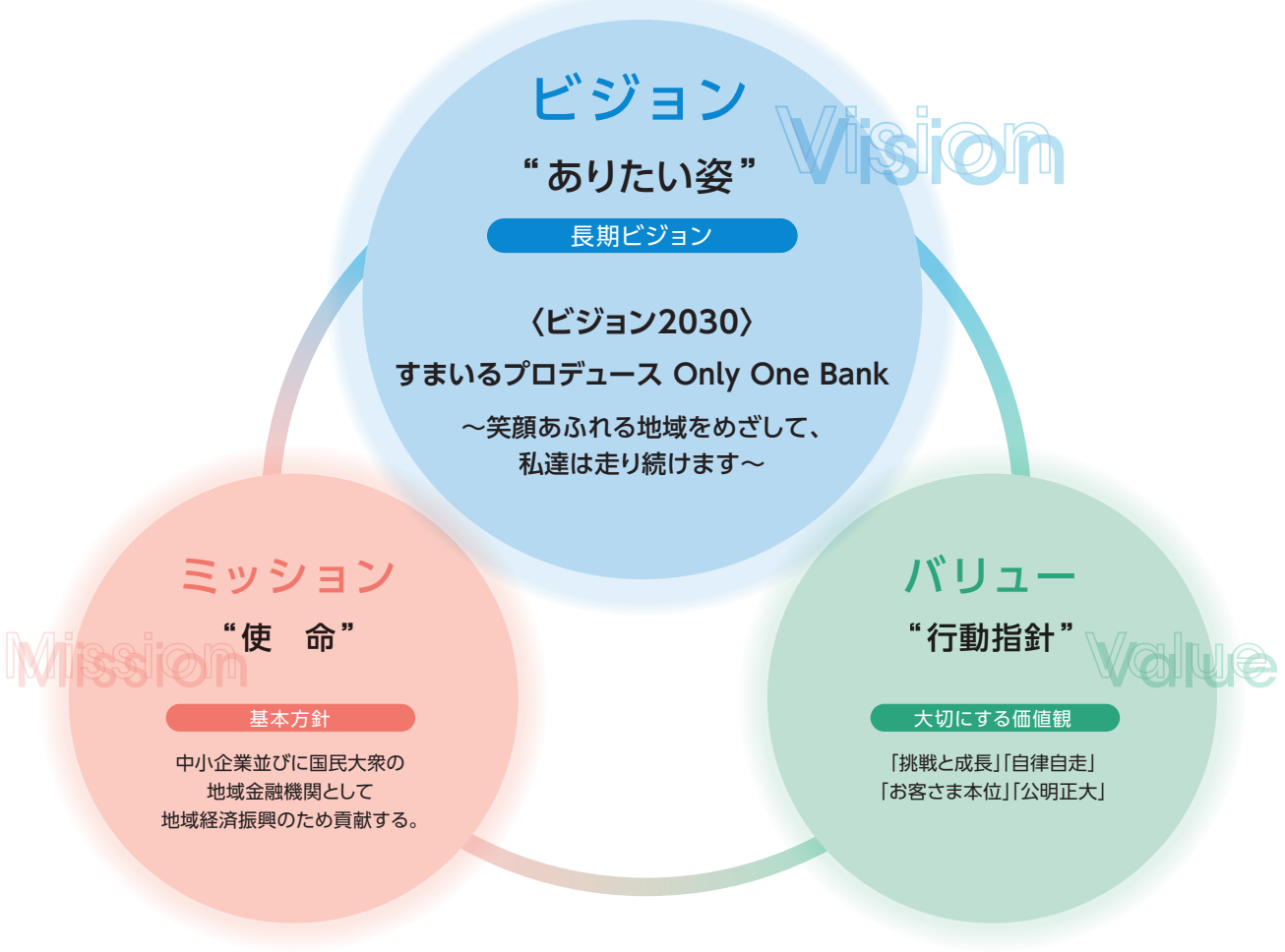
ビジョン2030

2030年度に創立80周年を迎えるにあたり、長期的に目指すべきありたい姿として、新長期ビジョン「ビジョン2030」を策定しました。

全役職員で共有する金庫のミッション・ビジョン・バリュー



第11次中期経営計画（2024年4月1日～2027年3月31日）

■ビジョン2030を実現するための土台づくりの3年間として第11次中期経営計画を策定しました。

戦略1	戦略2	戦略3
永遠のファンを増やす ～地域支援力の更なる強化～	笑顔の組織をつくる ～お客さま、職員満足度向上に向けた 庫内環境づくり～	金庫の価値を高める ～持続的成長を実現する基盤の構築～
コンプライアンス・リスク管理態勢の更なる強化		
横断的な取り組み　DX・GXへの取り組み		

2024年4月7日より新テレビコマーシャル放映開始

当金庫の新長期ビジョンをコンセプトに、地域やお客さまを笑顔にするため職員一人ひとりが生き生きと働く姿を表現しています。

CMはこちらからご覧いただけます

▶ 主要計数目標

第10次中期経営計画の最終年度（2023年度）の実績と、第11次中期経営計画の初年度（2024年度）の目標は次の通りです。

指標	項　目	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標
規　模	預金残高（期中平均残高）	23,000億円	22,840億円	23,200億円
	貸出金残高（期中平均残高）	11,750億円	11,810億円	12,000億円
収益性	お客さま向けサービス業務粗利益（※）	12,000百万円	12,053百万円	12,000百万円
	コア業務純益（投資信託解約損益を除く）	5,700百万円	5,935百万円	5,000百万円
生産性	コアOHR （投資信託解約損益、減価償却費、預金保険料を除く）	66.00％以下	64.64％	68.80％以下

※お客さま向けサービス業務粗利益＝貸出金利息－預金利息×預貸率＋役務取引等利益

▶ 第10次中期経営計画最終年度（2023年度）のご報告

●損益の状況

2023年度は、経常利益51億円、当期純利益37億円となりました。

（単位：百万円）

	2022年度	2023年度	増　減
業務粗利益	**16,003**	**18,922**	**2,918**
資金利益	17,384	17,856	471
役務取引等利益	1,832	1,550	△282
その他業務利益	△3,213	△484	2,729
（うち国債等債券関係損益）	△3,451	△727	2,724
経費	**14,872**	**14,640**	**△231**
人件費	9,766	9,564	△201
物件費	4,621	4,573	△47
一般貸倒引当金繰入額	―	**△195**	**△195**
業務純益（※1）	**1,131**	**4,476**	**3,345**
コア業務純益（※2）	**4,583**	**5,009**	**425**
臨時損益	**2,198**	**705**	**△1,493**
不良債権処理損益	24	△529	△553
株式等関係損益	1,941	1,037	△903
経常利益	**3,329**	**5,182**	**1,852**
特別損益	**△24**	**△23**	**1**
当期純利益	**2,557**	**3,735**	**1,177**

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。
※2 コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因（国債等債券関係損益等）を除いた、より実質的な収益力を表す利益です。